



<ベトナム・リサーチ・特別レポート>

情報提供用資料

2020年7月9日

ベトナムの政治日程 2021年党大会に向けて

ベトナムでは5年に1回開催される共産党全国代表大会(党大会)で、その後5年間の党規約改正や党人事が決定されます。前回、2016年1月に第12期党大会が開催されていますので、次回第13期党大会は2021年1月(通常は15日から20日の期間)に予定されています。

去る5月には、第12期共産党中央執行委員会の第12回会議が開催されました。ここでは第13期中央執行委員会の人事案が討議されました(中央執行委員会、政治局、事務局、中央検査委員会、その他政府機関の主要人事の採択基準や人数等)。また、同会議では、2021-2026年期の各レベル人民評議会選挙・国会総選挙の計画案も討議されました。



第12期共産党中央執行委員会の第12回会議



次回党大会までの政治日程ですが、概ね以下の通りです。

・2020年10月中旬:第13回会議。前期社会経済開発等の計画実施状況の確認や2021-2026年期の社会経済開発計画等を策定し、中央実行委員会の人事計画を議論します。

・2020年12月中旬:第14回会議。中央執行委員会の人事案を討議し承認します。

・2021年1月中旬:第13期共産党全国代表大会(党大会)

国家の最高職位は、「四柱」といわれる党書記長、国家主席、首相、国会議長で、4人の首脳による集団指導体制によって安定した政権運営が可能になっています。党書記長は党内序列が常に一位の最高指導者で、国家主席、首相、国会議長がこれに次ぎます。



第12期党大会

現在は党書記長が国家主席を兼務していますが、2021年以降、上記の四柱の体制に戻るか、あるいは現行の書記長兼国家主席、首相、国会議長の「三柱」体制が維持されるのかはまだ不明です。

四柱の集団指導体制に戻る場合ですが、非公式情報によると各職位の候補者は以下の通りです。



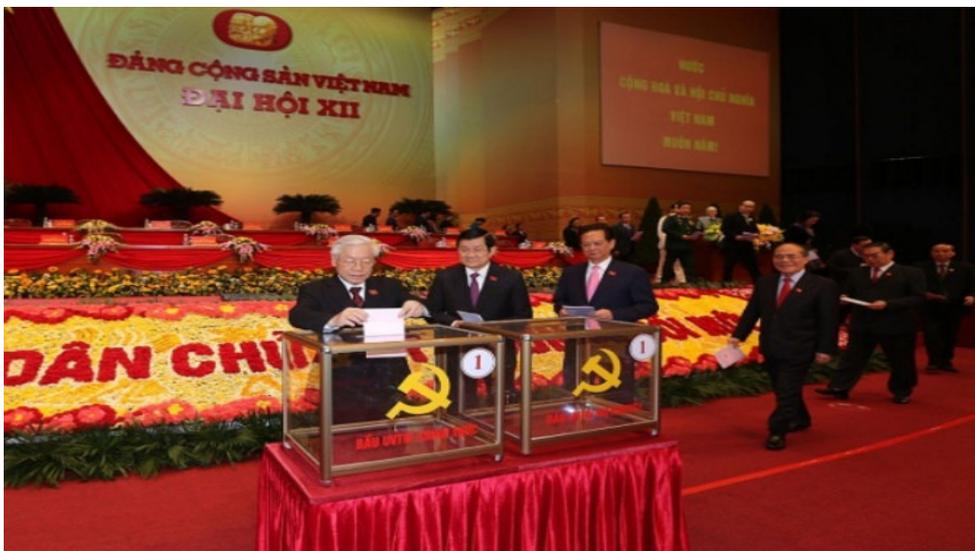
党書記長:現職のチョン書記長兼国家主席(76 歳)が留任する可能性もありますが、年齢や健康問題が懸念されています。他の候補者は、フック首相(65 歳)、ブオン書記局常務(67 歳)、ガン国会議長(66 歳)とされています。なお、ガン氏は南部出身ですが、ベトナム初の女性最高指導者が誕生するかに耳目が集まっています。

国家主席:ミン副首相(60 歳)、トーラム公安大臣(62 歳)、チン中央組織委員長(60 歳)が候補とされています。大統領的な国家主席には英語力も求められるため、ベテラン外交官で英語も堪能なミン氏が注目されています。

首相:フエ副首相兼ハノイ市書記長(62 歳)、ミン副首相兼外務大臣が候補とされていますが、このポジションは経済運営の経験が重視されますので、2011 年から 2016 年まで財務大臣を経験したフエ氏に注目が集まっています。

国会議長:上記のミン副首相、トーラム公安大臣、チン中央組織委員長に加え、マイ中央経済委員会議長(61 歳)、ビン政治局員(58 歳)その他の政治局員も候補者ですが、マイ女史は飛びぬけて優秀とされています。

なお、上記の候補者はあくまで現時点の非公式な現地情報に基づいているため、今後の政治情勢の変化によっては大きく党人事が軌道修正される可能性がありますので、ご注意ください。



第 12 期の選挙

【写真提供:JVRC】

<http://www.capital-am.co.jp>

以上